

令和6年度 GKP 広報大賞 エントリーシート

団体名 京都市	団体区分 （混成の場合は複数☑） <input checked="" type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 学校・NPO・個人等
取組名 下水道の日イベント「京都マンホールクエストⅡ～ ^{うたかた} 泡沫の迷宮と水のゆくえ～」	
責任者 （実際に広報に取り組んだチームの代表者） 氏名：橋部 総一郎 所属：上下水道局総務部総務課 電話：075-672-7810 E-mail：s.koho@suido.city.kyoto.lg.jp	
担当チームの構成 （外部人材を活用している場合や外部委託をしている場合等は、その旨記載して下さい） 企画・実施：市職員（総務部総務課5名）、外部委託業者 協力：市職員（京都市動物園、下水道部管理課）	
取組のポイント （一言でいうとどういう取組かを、箇条書き等で記載して下さい） ○下水道処理の工程をモチーフにした「下水道探検ゲーム」による事業の理解促進	
	
アピールポイント <ul style="list-style-type: none"> ・下水道処理の工程を懐かしのゲームで再現！ 【ルール】棒の上に乘せたボールを、コースフレームに当たらないようにゴールまで運ぶ。 ・子どもから大人まで世代を問わず、楽しみながら下水道について学べます。 	
要したコスト 下水道探検ゲーム制作費用 約90万円	

取組の概要（適宜、写真や図等を挿入して下さい。複数年度にわたる取組の場合は、その旨記載して下さい）

○ライフライン広報

当局では、「縁の下の力持ち」であり、重要なライフラインである水道・下水道をより身近に感じ、同事業への理解を深め、行動変容のきっかけにつながるよう、様々な媒体を通じて「すみと・ひかり」のキャラクター・マーケティングの強化も含めた「戦略的広報」に取り組んでおり、これらの取組を「ライフライン広報」と位置付けています。

キャラクター・マーケティングの強化に当たっては、「すみと・ひかり」の認知度向上に向けた効果的なブランディングを行い、最終的に「すみと・ひかり」の姿から水道・下水道事業を想起していただけることを目指しています。令和5年度より、「水道週間」や「水の日」、「下水道の日」などの水に関する記念日に合わせ、1年を通じて5回シリーズでイベントを実施しています。

○京都マンホールクエストⅡ～泡沫（うたかた）の迷宮と水のゆくえ～

ライフライン広報の第三弾として、下水道事業に対する理解を深め、関心を高めていただくことを目的に9月10日の「下水道の日」に合わせ、「京都マンホールクエストⅡ～泡沫（うたかた）の迷宮と水のゆくえ～」を実施しました。

開催日：令和6年9月7日（土） 午前10時～午後3時

場 所：京都市動物園 レクチャールーム前（〒606-8333 京都市左京区岡崎法勝寺町岡崎公園内）

内 容：

- ①下水処理の工程をモチーフにした「下水道探検ゲーム」による事業の理解促進。
- ②啓発品やマンホールカード等を配布するとともに、パネルの展示やアンケートを実施。
- ③マスコットキャラクター ホタルのすみと・ひかりのグリーティング



成果（数字を交えるなど、できるだけ具体的に記載して下さい）

参加者数

当局のブースには、849人が来訪（うち150人が「下水道探検ゲーム」を体験）。